

# 山 旅

会報 No.238

好山好山旅会



本社ヶ丸（八木さん撮影）

## 平成26年1月例会山行計画

第一例会 奥多摩	1月4日（土） 日の出山～御岳山	担当者 高橋
第二例会 外秩父	1月11日（土） 大霧山	担当者 清水
第三例会 三浦半島	1月19日（日） 三浦アルプス	担当者 早川
第四例会 日光	1月26日（日） 戦場ヶ原スノーハイク	担当者 小淵

# 大菩薩嶺周辺の山 本社ヶ丸

## 11月第二例会

日時 : 11月9日(土) 天気 くもり  
参加者 : 八木(L) 高橋 吉塚 小淵 板橋 宮崎 大平 計7名

吉塚 記

紅葉を期待しながら、橋のたもとから登山道へ入る。落ち葉の道が二つになり右方をとると沢に出て、どうやら沢二股のコースへ入ったと気づく。しばらく行くと沢が合流している。ここが沢二股らしい。落ち葉のせいかなり人が通らないのか踏み跡が薄い。沢筋を左岸に進み、いよいよ踏み跡も薄くなって、尾根に向かい急斜面に取りつくリーダーの後を追う。まもなく尾根のしっかりした道に出た。あとはルンルンで、左右の紅葉を楽しみながらからかさ岩に到着。ここは落ち葉でフカフカ、平らで休憩にもってこいの場所だ。ここで今日初めての道標を見る。

“ここから急坂だよ～”の声が掛かる。さて、頑張ろうかー。登山道の標識に従い左方向へ進むと二つに分かれる場所がある。踏み跡は薄い尾根に取りつく。登りきると稜線に出た。赤い標識があり。からかさ岩から上は落葉している。本社ヶ丸山頂へ到着。あいにくのガスで何にも見えない。さて下山となる。

先ほどの分岐まで戻り、鶴ヶ鳥屋山縦走路に行く。のびやかな場所の鉄塔を過ぎ角研山からヤグラの分岐まで来た。ここから急坂を一気に下る。この辺りから紅葉がドンピシャだ！上に左右に足元にと目がやたらと忙しい。

登山道は標識があり問題ない。林道を渡って更に下るが一段と木々が美しい。沢に出て渡渉が4回、堰堤が2か所、2個目の堰堤の下で右岸へ進み舗装された林道へ出た。

私は初めての本社ヶ丸だったが、美しい紅葉といろいろなコースが楽しめる山だと思った。次は山頂から富士山を見てみたい。笹一酒造で解散。

### □コースタイム

けいごや橋(9:20) 沢二股(10:00~10:05)  
尾根出合(10:25) からかさ岩(11:05~11:20)  
分岐(12:00) 本社ヶ丸(12:15~12:45) 分岐(12:55)  
送電線鉄塔(13:20) 角研山(13:40~13:45) ヤグラ(14:05)  
黒野田林道出合(14:25) 渡礁点(14:55~15:00)  
笹一酒造(15:35)

### □費用

都留駅~けいごや橋 タクシー代 一台 3050円

# 雪入山～浅間山

## 11月第三例会

日時 : 平成25年11月17日(日) 天気: 晴

参加者 : 土方(L)、高橋、早川、木村、清水、太島 計6名

—土方記—

計画書では、いやしの里登山口から登る予定であったがよりコースの長い小町の里から朝日峠を越えるルートに変更した。

小町の里からのコースは朝日展望公園に登るよく整備されたコースだ。沢沿いの道を歩いてすぐに、飲む事のできない水飲み沢と書かれた水場についた。飲めないのであれば、水飲み沢などと明記しなければと思いながら歩いていると木道となり、あたりは冬枯れ前の明るい森となった。

スタートから50分程で、展望台に到着した。ここからは霞ヶ浦、関東平野、遠く富士山まで一望できるが今日は霞んでいた。展望台から朝日峠までは自動車道路を歩き、峠からは林道を歩くと鉄塔のあるパラボラ山に到着した。ここからまた登山道となり、少しばかり下ると剣ヶ峰に出た。

剣ヶ峰から先は里山の静かな尾根道を歩く。途中景色のよい開けた場所を過ぎるとあきば峠だ。どうやら雪入山の山頂は気がつかないまま通過してしまったようだ。あきば峠から浅間山まではあつというまに着いた。

帰りは剣ヶ峰まで戻り、ここからいやしの里へ下山した。

□コースタイム : 小町の里(9:30)－展望台(10:20)－剣ヶ峰(11:15)－あきば峠(11:45)－浅間山(12:10)－剣ヶ峰(13:15)－いやしの里(13:40)

□費用 : 9人乗りレンタカー代金およびガソリン代 12,000円  
一人あたり 2,000円

第一例会の真富士山～大光山、第四例会の御堂山は参加者が3人に満たず中止となりました。

山旅 No.238 平成25年12月1日発行 発行者 高橋 和行 編集者 瀬川富美子

発行所 埼玉県入間市春日町1-11-43 高橋方 好山好山旅会

WebSite <http://www.kozanko.net/>

口座 ゆうちょ銀行 記号 10030 番号 32588101 名前 コウザンコウヤマタビカイ